

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東
 コード番号 3173 URL https://www.cominix.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳川 重昌
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(6765)8201
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,515	△20.0	△117	—	△111	—	△139	—
2020年3月期第2四半期	11,891	△4.4	354	△30.8	338	△33.4	207	△28.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △190百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 167百万円(△23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△20.26	—
2020年3月期第2四半期	30.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	16,476	5,298	32.0
2020年3月期	15,489	5,555	35.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,266百万円 2020年3月期 5,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	10.00	21.00
2021年3月期	—	6.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	20,500	△12.1	10	△98.5	36	△94.3	34	△90.5	—	4.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	6,868,840株	2020年3月期	6,868,840株
2021年3月期2Q	335株	2020年3月期	335株
2021年3月期2Q	6,868,505株	2020年3月期2Q	6,868,505株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、企業の投資マインドは著しく縮小し、外出規制や雇用環境を背景に個人消費は急速に冷え込みました。緊急事態宣言解除後は、経済活動再開の動きがみられましたが、経済活動と感染防止の両立を模索する中で経済回復は緩やかに推移しております。世界経済についても、各国の経済活動は大幅に縮小しましたが、日本同様に経済活動維持と感染拡大抑制の両立模索の局面に入っており、緩やかな景気回復基調となっております。しかしながら、景気回復に向けては、新型コロナウイルス感染症を発端とした米中対立の激化等の国際情勢の課題も抱えていることから、世界経済の正常化には相当の時間を要するものと考えられます。

当社グループはこのような厳しい経営環境下において、顧客に応じたWEBミーティングを実施する等、ウィズコロナのニューノーマルへ対応した営業スタイルの構築に努めました。海外現地法人においてはホームオフィス化についても推進いたしました。また、グループの成長戦略の一環としては、関東及び九州エリアでの業容拡大を目的に、2020年8月に株式会社東新商会、2020年9月に株式会社澤永商店を子会社化いたしました。加えて、事業環境変化への対応や新たな顧客層の獲得を目的に、2020年10月から本格スタートする切削工具専門ECサイト「さくさく」の開設準備を進めてまいりました。これらの事業基盤の強化・拡大施策に加え、テレワークの活用や各種固定費の削減等による経営のスリム化も推進しましたが、厳しい事業環境を背景に業績は低調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,515,687千円（前年同四半期比20.0%減）、営業損失は117,364千円（前年同四半期は営業利益354,707千円）、経常損失は111,129千円（前年同四半期は経常利益338,709千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は139,143千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益207,626千円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

切削工具事業

切削工具事業につきましては、WEB会議システム等の積極的な活用により営業活動の維持・向上に努めました。また、売上増及びWEB受注率アップを目的としたCominix Online キャンペーンを実施いたしました。自動車業界を中心とした市場環境の低迷に伴う販売減を補完するに至らず売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は5,953,152千円（前年同四半期比22.2%減）、セグメント損失は200,224千円（前年同四半期は202,494千円のセグメント利益）となりました。

耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、主要販売先の製缶業界において、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛に伴うアルコール飲料用のアルミ缶等の生産需要が増加し、当社の受注も堅調に推移いたしました。その他、製袋・電池・破砕刃等の業界へも積極的に展開した結果、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,306,932千円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は143,804千円（前年同四半期比39.3%増）となりました。

海外事業

海外事業につきましては、当社が進出している世界各国で新型コロナウイルスによる多大な影響を受けたことを主因として売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,745,103千円（前年同四半期比25.1%減）、セグメント損失は85,797千円（前年同四半期は7,845千円のセグメント利益）となりました。

光製品事業

光製品事業につきましては、新規商材の拡販等を推進しましたが、新型コロナウイルスの影響により、イベント関連をはじめとした一部案件の進捗・納品の遅延や開発案件の延期等が発生したことを主因として売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は510,499千円（前年同四半期比20.9%減）、セグメント利益は25,255千円（前年同四半期比45.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（総資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて164,840千円増加し、12,625,952千円となりました。これは主に、商品が429,416千円、現金及び預金が339,069千円増加した一方で、売上高が低調に推移したことに伴い受取手形及び売掛金が540,598千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて821,980千円増加し、3,850,258千円となりました。これは主に、土地が298,901千円、建物及び構築物（純額）が56,866千円、のれんが246,075千円増加したことなどによります。

うち、株式会社東新商会のM&Aによる影響額（増加）は、現金及び預金107,905千円、受取手形及び売掛金329,573千円、商品549,691千円、建物及び構築物37,243千円、土地230,201千円、のれん247,119千円であります。また、株式会社澤永商店のM&Aによる影響額（増加）は、現金及び預金154,974千円、受取手形及び売掛金67,599千円、商品40,803千円、建物及び構築物30,696千円、土地68,700千円、のれん10,096千円であります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて986,820千円増加し、16,476,210千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて250,731千円増加し、7,937,851千円となりました。これは主に、短期借入金が970,682千円、1年内返済予定の長期借入金が177,512千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が707,622千円、賞与引当金が88,727千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて992,892千円増加し、3,239,920千円となりました。これは主に、長期借入金が713,237千円増加したことなどによります。

うち、株式会社東新商会のM&Aによる影響額（増加）は、支払手形及び買掛金188,072千円、短期借入金529,329千円、1年内返済予定の長期借入金17,196千円、長期借入金154,224千円であります。また、株式会社澤永商店のM&Aによる影響額（増加）は、支払手形及び買掛金61,856千円、短期借入金80,000千円、長期借入金50,116千円であります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて1,243,624千円増加し、11,177,772千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて256,803千円減少し、5,298,438千円となりました。これは、利益剰余金が207,828千円（親会社株主に帰属する四半期純損失による減少139,143千円、剰余金の配当による減少68,685千円）、為替換算調整勘定が50,888千円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,349,217千円（前年同四半期比36.2%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、168,795千円（前年同期は235,036千円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額900,677千円、たな卸資産の減少額119,062千円、減価償却費62,571千円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少911,882千円、税金等調整前四半期純損失111,129千円、賞与引当金の減少額90,669千円及び、法人税等の支払額59,830千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、821,076千円（前年同期は90,479千円の使用）となりました。

支出の主な内訳は、子会社株式の取得による支出770,359千円、保険積立金の積立による支出33,246千円、有形固定資産の取得による支出16,769千円、無形固定資産の取得による支出13,239千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、1,315,090千円（前年同期は300,474千円の獲得）となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入1,040,641千円及び短期借入金の増加額725,140千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出379,134千円、配当金の支払額68,396千円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想および配当予想につきましては、新型コロナウイルスの影響について合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年10月30日）公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,183,318	2,522,387
受取手形及び売掛金	4,852,463	4,311,865
商品	5,065,279	5,494,695
その他	400,432	343,705
貸倒引当金	△40,381	△46,702
流動資産合計	12,461,112	12,625,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	344,973	401,839
土地	959,104	1,258,006
その他(純額)	136,990	132,894
有形固定資産合計	1,441,067	1,792,739
無形固定資産		
のれん	111,413	357,488
その他	234,476	218,527
無形固定資産合計	345,890	576,015
投資その他の資産		
その他	1,255,926	1,500,926
貸倒引当金	△14,607	△19,423
投資その他の資産合計	1,241,319	1,481,502
固定資産合計	3,028,277	3,850,258
資産合計	15,489,390	16,476,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,512,546	3,804,924
短期借入金	1,908,676	2,879,359
1年内返済予定の長期借入金	665,208	842,720
未払法人税等	48,925	33,932
賞与引当金	165,560	76,832
役員賞与引当金	7,700	10,545
その他	378,503	289,537
流動負債合計	7,687,119	7,937,851
固定負債		
長期借入金	1,661,491	2,374,728
役員退職慰労引当金	233,462	291,198
退職給付に係る負債	311,184	339,855
その他	40,890	234,137
固定負債合計	2,247,028	3,239,920
負債合計	9,934,148	11,177,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,845,931	4,638,103
自己株式	△219	△219
株主資本合計	5,526,108	5,318,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,887	△7,886
為替換算調整勘定	7,035	△43,853
その他の包括利益累計額合計	△6,851	△51,740
非支配株主持分	35,984	31,897
純資産合計	5,555,241	5,298,438
負債純資産合計	15,489,390	16,476,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 9 月 30 日)
売上高	11,891,521	9,515,687
売上原価	9,359,435	7,567,237
売上総利益	2,532,086	1,948,450
販売費及び一般管理費	2,177,378	2,065,814
営業利益又は営業損失 (△)	354,707	△117,364
営業外収益		
受取利息	1,006	1,846
受取配当金	3,037	2,151
仕入割引	15,217	11,525
補助金収入	11,826	11,234
保険解約返戻金	118	9,397
その他	9,637	15,470
営業外収益合計	40,843	51,626
営業外費用		
支払利息	14,055	18,541
売上割引	22,030	18,166
為替差損	12,573	2,515
その他	8,181	6,167
営業外費用合計	56,841	45,390
経常利益又は経常損失 (△)	338,709	△111,129
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	338,709	△111,129
法人税、住民税及び事業税	114,217	42,335
法人税等調整額	15,926	△10,879
法人税等合計	130,144	31,455
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	208,564	△142,585
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	938	△3,441
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	207,626	△139,143

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	208,564	△142,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,877	6,000
為替換算調整勘定	△24,540	△53,837
その他の包括利益合計	△41,417	△47,837
四半期包括利益	167,147	△190,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,801	△184,031
非支配株主に係る四半期包括利益	345	△6,390

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	338,709	△111,129
減価償却費	61,731	62,571
のれん償却額	—	11,141
受取利息及び受取配当金	△4,043	△3,998
支払利息	14,055	18,541
為替差損益 (△は益)	△619	△2,627
保険解約返戻金	△118	△9,397
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,082	4,110
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,970	△90,669
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,604	△3,417
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,999	△25,581
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	33,139	12,973
売上債権の増減額 (△は増加)	460,214	900,677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△186,626	119,062
仕入債務の増減額 (△は減少)	△593,589	△911,882
その他	△55,968	△67,158
小計	22,227	△96,784
利息及び配当金の受取額	4,042	3,995
利息の支払額	△9,411	△16,176
法人税等の支払額	△251,895	△59,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	△235,036	△168,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,186	△16,769
無形固定資産の取得による支出	△17,411	△13,239
投資有価証券の取得による支出	△9,088	△6,971
定期預金の預入による支出	△2,879	△4,251
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△770,359
保険積立金の積立による支出	△32,711	△33,246
保険積立金の解約による収入	744	22,362
その他	△3,946	1,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,479	△821,076
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,000	725,140
長期借入れによる収入	400,000	1,040,641
長期借入金の返済による支出	△231,319	△379,134
配当金の支払額	△116,497	△68,396
非支配株主への配当金の支払額	△1,708	△1,495
その他	—	△1,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	300,474	1,315,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,901	△28,341
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,942	296,876
現金及び現金同等物の期首残高	1,766,046	2,052,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,725,103	2,349,217

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,655,225	1,259,503	2,331,309	645,482	11,891,521	—	11,891,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	9,837	—	9,837	△9,837	—
計	7,655,225	1,259,503	2,341,146	645,482	11,901,358	△9,837	11,891,521
セグメント利益	202,494	103,202	7,845	46,536	360,080	△5,372	354,707

(注)1 セグメント利益の調整額△5,372千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,953,152	1,306,932	1,745,103	510,499	9,515,687	—	9,515,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	7,379	—	7,379	△7,379	—
計	5,953,152	1,306,932	1,752,482	510,499	9,523,066	△7,379	9,515,687
セグメント利益 又は損失(△)	△200,224	143,804	△85,797	25,255	△116,962	△402	△117,364

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△402千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する事項

株式会社東新商会及び株式会社澤永商店を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「切削工具事業」において1,802,218千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社東新商会及び株式会社澤永商店を連結の範囲に含めたことにより、「切削工具事業」におけるのれんが257,216千円増加しております。